

【第1部】基礎編

- Q1. 答え：終止形 解説：文末・句点。「私は知らない」。
- Q2. 答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：「言は」未然＋「ぬ」＋体言「人」。連体形。「物を言わない人」。
- Q3. 答え：打消の助動詞「ず」已然形「ね」 解説：「知ら」未然＋「ね」＋「ば」(原因)。「知らないので、答えない」。
- Q4. 答え：連用形 解説：「言は」未然＋「ず」＋「して」(接続助詞、連用接続)。「物を言わないで、立ち去る」。
- Q5. 答え：連用形「ざり」 解説：「知ら」未然＋「ざり」＋過去「けり」。「知らなかった」。
- Q6. 答え：打消連体形「ぬ」 解説：「咲か」未然＋「ぬ」＋体言「夜」。「花が咲かない夜」。
- Q7. 答え：打消已然形「ね」 解説：「思は」未然＋「ね」＋「ど」(逆接)。「思わないけれども、口に出す」。
- Q8. 答え：終止形 解説：文末。「雨が降らない」。
- Q9. 答え：打消連体形「ざる」 解説：「知ら」未然＋「ざる」＋体言「人」。「知らない人」。
- Q10. 答え：連用形 解説：「食は」未然＋「ず」＋「して」。「食べないで、眠った」。
- Q11. 答え：打消「ず」連体形「ぬ」 解説：下二段「寝(ぬ)」未然形「ね」＋可能「らる」未然形「られ」＋打消「ず」連体形「ぬ」＋体言「夜」。「眠れない夜」。体言の前なので連体形「ぬ」。「らる」の活用：られ・られ・らる・らるる・らるれ・られよ。
- Q12. 答え：打消已然形「ね」 or 完了「ぬ」已然形「ね」 解説：「来」が未然「こ」なら打消「来ねば(来ないので)」、連用「き」なら完了「来てしまったので」。文意で判断。
- Q13. 答え：終止形 解説：文末。「私はお仕えしない」。
- Q14. 答え：打消已然形「ざれ」 解説：「知ら」未然＋「ざれ」＋「ば」。「知らないので、答えない」。
- Q15. 答え：打消連体形「ぬ」 解説：「登ら」未然＋「ぬ」＋体言「人」。「嵐山に登らない人」。
- Q16. 答え：終止形 解説：文末。「まだ書かない」。
- Q17. 答え：打消「ず」已然形「ね」 解説：(参考) 下二段「寝(ぬ)」已然形「寝ぬれ」＋接続助詞「ど」(逆接確定)。「終夜、もの思いに沈んで眠るけれど、夢を見ない」。本文に「ね」は単独で現れないため、これは識別問題としては範囲外。
- Q18. 答え：終止形(or 連用形) 解説：句点ありなら終止、なければ連用。「風が吹かず、波が静かだ」。
- Q19. 答え：打消連体形「ぬ」 解説：「見」上一段未然＋「ぬ」＋体言「人」。「月を見ない人は、世にいない」。
- Q20. 答え：打消已然形「ね」 解説：「言は」未然＋「ね」＋「ばこそ」(強調)。「言わないからこそ、奥ゆかしい」。

【第2部】標準編

- Q21. 答え：連用形 解説：「ず」＋動詞「立ち止まる」(中止法)。
- Q22. 答え：打消連体形「ぬ」 解説：「来」(カ変連用形)＋「たら」(完了「たり」未然形)＋「ぬ」(打消「ず」連体形)＋体言「山」。
- Q23. 答え：打消已然形 解説：「食は」未然＋「ね」＋「ば」。
- Q24. 答え：連用形「ざり」 解説：「ざり」＋過去「き」連体「し」＋準体「を」。
- Q25. 答え：終止形 解説：文末。

- Q26. 答え：連体形「ざる」 解説：「あら」未然＋「ざる」＋準体「を」。
- Q27. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q28. 答え：打消連体形「ぬ」 解説：「言は」未然＋「ぬ」＋体言「こと」。
- Q29. 答え：已然形 解説：「ざれ」＋「ば」。
- Q30. 答え：終止形 解説：文末。
- Q31. 答え：打消已然形 解説：「行か」未然＋「ね」＋「ば」。
- Q32. 答え：打消連体形 解説：「見」未然＋「ぬ」＋体言「夜」。
- Q33. 答え：連用形 解説：「ざり」＋完了「つる」連体形＋体言「夜半」。
- Q34. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q35. 答え：打消已然形 解説：「言は」未然＋「ね」＋「ど」(逆接)。
- Q36. 答え：打消連体形 解説：「通は」未然＋「ざる」＋体言「人」。
- Q37. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q38. 答え：打消連体形 解説：「名乗ら」未然＋「ぬ」＋体言「人」＋係助詞「ぞ」＋形容詞已然「怪しけれ」(連体結び)。
- Q39. 答え：打消已然形 解説：「給は」未然＋「ね」＋「ば」。
- Q40. 答え：已然形 解説：「あら」未然＋「ざれ」＋「ば」。
- Q41. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q42. 答え：打消「ず」連体形「ぬ」 解説：下二段「あらはる(現る)」未然形「あらはれ」＋打消「ず」連体形「ぬ」＋体言「人」。「姿を現さない人／露見しない人」。体言の前なので連体形「ぬ」。
- Q43. 答え：連体形 解説：「定まら」未然＋「ざる」＋準体「を」。
- Q44. 答え：打消已然形 解説：「知ら」未然＋「ね」＋「ばこそ」(強調)。
- Q45. 答え：終止形 解説：文末。
- Q46. 答え：打消連体形 解説：「住ま」未然＋「ぬ」＋体言「人ら」。
- Q47. 答え：連用形 解説：「ざり」＋過去「けり」已然＋逆接「ども」。
- Q48. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q49. 答え：打消已然形 or 完了已然形 解説：「隠れ」未然なら打消、連用なら完了。文意「隠れない」or「隠れた」。
- Q50. 答え：連体形 解説：「通は」未然＋「ざる」＋体言「もの」。

【第3部】応用編

- Q51. 答え：連用形 解説：方丈記冒頭。「ず」＋「して」(連用接続)。
- Q52. 答え：打消連体形 解説：「知ら」未然＋「ぬ」＋体言「間」。
- Q53. 答え：打消已然形 解説：「言は」未然＋「ね」＋「ばこそ」＋ラ変已然「ありけれ」。
- Q54. 答え：連用形(補助活用) 解説：ラ変「あり」未然「あら」＋打消「ず」連用形「ざり」(補助活用)＋過去「けり」連体「ける」＋準体「を」。「あらざりける」＝「(その事が)なかったことを、嘆く」。
- Q55. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q56. 答え：打消連体形 解説：「吹か」未然＋「ぬ」＋体言「夜」。

- Q57. 答え：打消已然形 解説：「あら」未然＋「ね」＋「ば」。
- Q58. 答え：連体形 解説：「吹か」未然＋「ざる」＋体言「夜」。
- Q59. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q60. 答え：打消連体形 解説：「詠ま」未然＋「ぬ」＋準体「を」。
- Q61. 答え：打消已然形 解説：「あら」未然＋「ね」＋「ば」。
- Q62. 答え：已然形 解説：「食は」未然＋「ざれ」＋「ば」。
- Q63. 答え：連用形 解説：「あら」未然＋「ず」＋「は」(假定)。
- Q64. 答え：打消連体形 解説：「知ら」未然＋「ぬ」＋体言「人」。
- Q65. 答え：打消已然形 解説：「行か」未然＋「ね」＋「ば」。
- Q66. 答え：連用形 解説：「ざり」＋過去「き」連体「し」＋準体「を」。
- Q67. 答え：終止形 解説：文末。
- Q68. 答え：打消連体形 解説：「渡ら」未然＋「ぬ」＋体言「人ら」。
- Q69. 答え：打消已然形 解説：「知ら」未然＋「ね」＋「ば」。
- Q70. 答え：打消連体形 解説：「解せ」(サ変未然)＋「ざる」＋体言「人」。
- Q71. 答え：終止形 解説：「風吹かず(連用)、波荒からず(終止)」。
- Q72. 答え：打消連体形 解説：「知ら」未然＋「ぬ」＋体言「こと」。
- Q73. 答え：打消已然形 解説：「登ら」未然＋「ね」＋「ば」。
- Q74. 答え：(複雑) 打消「ぬ」連体形 解説：「ならぬ」(ぬ＝連体)。
- Q75. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q76. 答え：打消連体形 解説：「知ら」未然＋「ぬ」＋体言「身」。
- Q77. 答え：打消已然形 解説：「祈ら」未然＋「ね」＋「ど」(逆接)。
- Q78. 答え：打消連体形 解説：「吹か」未然＋「ざる」＋体言「夜」。
- Q79. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。
- Q80. 答え：打消連体形 解説：「通は」未然＋「ぬ」＋準体「を」。

【第4部】入試レベル

- Q81. 答え：(参考、「ざり」＝打消連用形) 注釈：徒然草「仁和寺の法師」段。
- Q82. 答え：打消已然形 解説：「あら」未然＋「ね」＋「ば」。「月の都の人ではないので、どうしてこんな目に遭おうか」。
- Q83. 答え：終止形 解説：「あら」未然＋「ず」。「物のあわれを知らない人ではない」。
- Q84. 答え：打消連体形 解説：「知ら」未然＋「ぬ」＋準体「を」。「知らないことを知らないとせよ」(論語の言葉)。
- Q85. 答え：打消已然形 解説：「あら」未然＋「ね」＋「ばこそ」。「心ある人ではないからこそ、これを解さない」。
- Q86. 答え：打消「ず」連体形「ぬ」 解説：下二段「出づ」未然形「出で」＋打消「ず」連体形「ぬ」＋体言「夜」。「月が出ない夜は、なお暗い」。体言の前なので連体形「ぬ」(已然形「ね」と混同しない)。打消「ず」の活用：ず・ず・ぬ・ね・〇。
- Q87. 答え：連用形 解説：「ざり」＋過去「き」連体「し」＋体言「こと」。

Q88. 答え：打消連体形 解説：「仕うまつら」未然＋「ぬ」＋体言「こと」。

Q89. 答え：打消已然形 解説：「祈ら」未然＋「ね」＋「ば」(原因)。「仏に祈らないので、誰に頼もうか」。

Q90. 答え：連体形 解説：「あら」未然＋「ざる」＋準体「を」。

Q91. 答え：連用形 解説：方丈記。「絶え」＋「ず」＋「して」。

Q92. 答え：打消連体形 解説：「見せ」(下二段未然)＋「ぬ」＋体言「人」。

Q93. 答え：打消已然形 or 完了已然形 解説：「絶え」(下二段連用or未然)＋「ね」。文脈で。

Q94. 答え：連用形 解説：「ざり」＋過去「き」連体「し」＋準体「を」。

Q95. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。

Q96. 答え：打消連体形 解説：「言は」未然＋「ぬ」＋準体「を」。

Q97. 答え：打消已然形 解説：(再掲・確認問題)「あら」未然＋「ね」＋「ば」。

Q98. 答え：打消連体形 解説：「行か」未然＋「ざる」＋準体「を」。

Q99. 答え：連用形 解説：「ず」＋「して」。

Q100. 答え：打消「ず」連用形「ず」＋接続助詞「して」 解説：下二段「絶ゆ」未然形「絶え」＋打消「ず」連用形「ず」＋接続助詞「して」。鴨長明『方丈記』冒頭の有名な一節。「行く川の流れは絶えることなく、しかも元の水ではない」。連用形＋「して」で「～なくて／～ないで」の意。